

化粧用パフの表面観察



SUSCARE

1. 測定条件

化粧用パフの表面を光学顕微鏡（デジタルマイクロスコープ）にて深度合成撮影した。

2. 測定結果

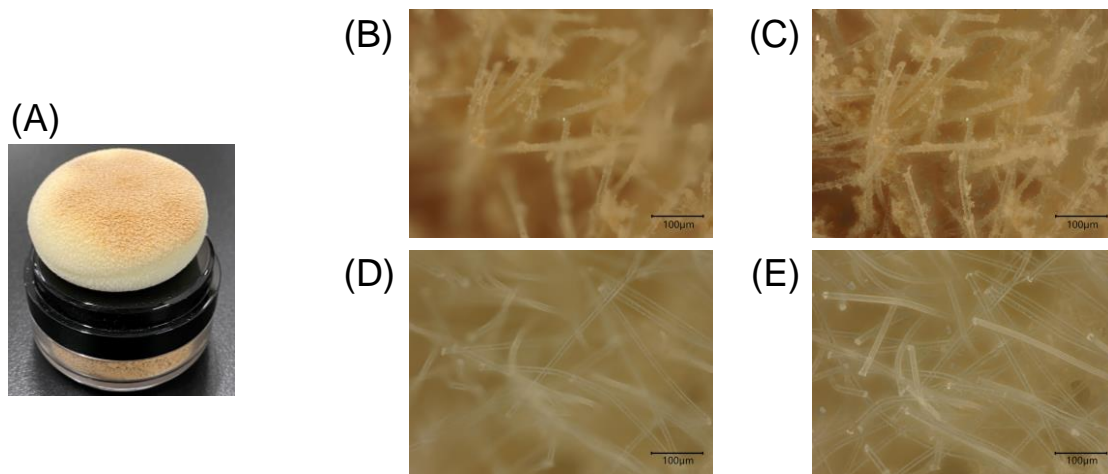


図. デジタルマイクロスコープによる化粧用パフの光学観察像。

(A)は化粧用パフの外観；(B, C)はファンデーション塗布後；(D, E)は洗浄後；(B, D)は深度合成なし；(C, E)は深度合成あり。スケールバーは100 μm。

3. 測定結果から得られる情報

- 深さのある検体を高倍率で観察すると、一部しか焦点の合っていない像が得られてしまいます。しかし、焦点位置を深さ方向に自動的・連続的に撮影して合成像を構築する深度合成撮影を用いれば、深さのある検体であっても全視野に渡り焦点の合った像を取得することができます。
- ファンデーションがパフ内部まで付着し (B, C)、一方、洗浄によりパフ内部のファンデーションが除去されていること (D, E) を示します。

4. 使用機器／利用料金

光学顕微鏡（デジタルマイクロスコープ）

(VHX-7000, キーエンス社製)

中小企業：800円

一般企業：1,360円（1時間当たり）

※消耗品の用意がありますが、別途費用が生じます。

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。